



Sailing Ahead

2026年4月

初開催となる [PIANC 北海会議 \(North Sea Conference\)](#)、及び [年次総会 \(AGA\) 2026](#) まで2週間を切り、日増しに期待が高まっています。皆さまをハルにお迎えし、魅力的で思い出に残る1週間となることを楽しみにしております。

今回のニューズレターでは、今後のPIANCイベントに関する最新情報に加えて、PIANC各WGからのニュース、発刊物の最新情報、及びプラチナパートナーや姉妹機関からの最新情報をお届けします。



<https://www.pianchull2026.org/>

また、Isabelle Colot氏がPIANC本部スタッフチームに正式に加わったことをお知らせでき大変喜ばしく思います！同氏は、長年にわたり会計業務の担当者としてPIANCの重要な一員として活躍してきました。彼女の専門知識、献身的な姿勢及び協会に関する知見の深さにより、組織を背後から支える不可欠な存在となっています。



今回、彼女が常勤ベースで本部チームに加わることを大変嬉しく思っており、ハルで開催される年次総会 (AGA 2026) の週に、より広範にPIANCコミュニティの皆さまに彼女をご紹介できることを楽しみにしています。

今後のPIANCイベントにご参加ください！

NordPIANC 2026

PIANC APAC* 2026

PIANC Americas 2026

PIANC COPEDEC** XI



PIANC
APAC
2026



2026年9月9日 - 11日
(エストニア・タリン)

2026年8月25日 - 27日
(豪・ブリスベン)

2026年10月25日 - 29日
(ブラジル・リオデジャネイロ)

2027年2月21日 - 26日
(インド・チェンナイ)

会議ウェブサイトは
こちら！

会議ウェブサイトは
こちら！

会議ウェブサイトは
こちら！

*PIANC APAC: PIANC Asia Pacific Conference

** COPEDEC: Conference on Coastal and Port Engineering in Developing Countries(開発途上国における海岸・港湾工学国際会議)

PIANC 各賞への応募はこちら

PIANC デ・パエペ・ウィレムス賞2027
(DE PAEPE-WILLEMS AWARD(DPWA) 2027)

PIANC 自然との協働・共生賞 2028
(PIANC WORKING WITH NATURE AWARD 2028)

PIANC De Paepe-Willems Award

The PIANC De Paepe-Willems Award (DPWA) is a prestigious international prize encouraging **Young Professionals** to submit original technical papers in the field of waterborne transport infrastructure.

Why Apply?

- Gain **international recognition** for your technical paper
- Introduce yourself to an **international network of experts** in your industry
- Win a **great cash prize and free PIANC membership**

> 1st Prize: €4,000 + 3-year free PIANC membership + travel & 3-night hotel stay to present at the PIANC Annual General Assembly (AGA)

> 2nd Prize: €2,000 + 1-year free PIANC membership

> 3rd Prize: €1,000 + 1-year free PIANC membership

Who? All Young Professionals who have not reached the age of 40 before 31 December of the year in which the abstract has been submitted.

How? Visit the PIANC website to learn more and submit your project for review. <https://bit.ly/4lFHxGF>

Working with Nature Award 2028

This international award celebrates outstanding waterborne transport infrastructure projects that demonstrate a proactive, integrated approach to working with natural processes — delivering benefits for both navigation infrastructure and the environment.

Why Apply?

- Gain **international recognition** for your innovative, eco-friendly approach to waterborne transport infrastructure
- Showcase your commitment to sustainability**
- Inspire others** through your example

In case your project receives a Certificate of Recognition, it will be in the running for the PIANC Working with Nature Award during the PIANC World Congress in 2028.

Who? Any completed or ongoing navigation infrastructure project that embodies the Working with Nature philosophy is eligible for consideration.

How? Visit the PIANC website to learn more and submit your project for review: bit.ly/4f1DLVv

🤖 応募のメリット

- ✔ 技術論文の国際的な評価の獲得
- ✔ 当該分野の専門家の国際的ネットワークへの参画・自己アピール
- ✔ 多額の賞金とPIANC無料会員権の獲得

過去の受賞者の声をお読み下さい！

[these testimonials](#)

🤖 応募のメリット

- ✔ 水上交通インフラにおける革新的かつエコフレンドリーなアプローチへの国際的な評価の獲得
- ✔ 持続可能な取組みのアピールにつながる
- ✔ 応募プロジェクトを先例とする他プロジェクトの範となる

応募プロジェクトが認定証(Certificate of Recognition)を獲得している場合は、2028年PIANC世界航路会議(PIANC World Congress)において、本賞の候補となります。

👤👤 応募資格

アブストラクト提出(応募)の年の12月31日時点で40歳未満の全ての若手技術者 (YP)

🔗 応募方法

過去の受賞者(論文)に関する情報の確認、及び論文の応募申請(提出)については、[PIANC Webサイト](#)をご参照ください。

※PIANC-JapanのHPの2026/04/26付ニュースでも応募要領や過去の受賞論文一覧を掲載しています。

👤👤 応募資格

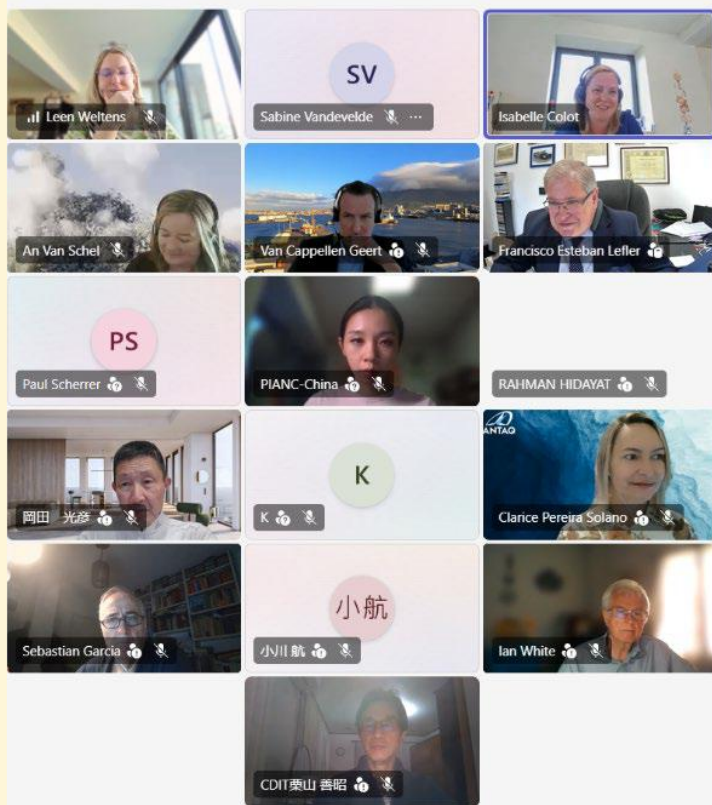
自然との共生・協働(WwN: Working with Nature)の理念を具現化する水上交通インフラ・プロジェクトであれば、完了/継続案件にかかわらず応募の資格があります

🔗 応募方法

過去の受賞プロジェクトに関する情報の確認、及びプロジェクトの応募申請(提出)については、[PIANC Webサイト](#)をご参照ください。

PIANC 評議会(Council)からのニュース

第94回評議会(Council)の開催



第94回評議会(Council)を2026年4月9日に開催しました。

2026年5月にハルにて開催する年次総会(AGA)での承認を必要とする規約上の事項を審議するための「年次総会に先立つ評議会」としては、初めてオンライン形式で開催したものです。

評議会では、財務委員会(FinCom)委員長として、[Ian White](#)氏の後任に[Manuel Arana Burgos](#)氏が就任することを正式に承認しました。評議会メンバーは、長年にわたるWhite氏の献身的な取り組み及び尽力に感謝の意を表するとともに、新委員長としてArana Burgos氏を歓迎しました。

PIANC規則・規程の改正案の承認に向けた最終段階として、評議会では年次総会(AGA)に提出される次の3件の改正提案を承認しました。Working with Nature Award(自然との協働・共生(プロジェクト)賞)とPIANC 'Jack Nichol' Marina Design Award(ジャック・ニコルマリーナ設計賞)に係る規則・規程、及び資格会員(Qualifying Members)の最低分担金に係る規則・規程の第3条g項に関するものです。さらに、各国の国内部会の分担金負担に関する二本立てアプローチに関する提案(素案)についても、評議会により承認されました。

PIANC 委員会(Commissions)からのニュース

PIANC連携プロジェクト「MERLIN EU-Horizon 2020 Project」の完了

*MERLIN: Mainstreaming Ecological Restoration of Freshwater-Related Ecosystems(淡水に関連する生態系の生態学的な再生の主流化)



[EU Horizon 2020 project MERLIN](#)の主要な目的は、「広域的な景観・地域全体を見据えて、淡水に関連する生態系の生態学的な再生の主流化：イノベーション、拡大及び変革」です。このプロジェクトは2021年から2025年に展開されました。

大学、研究機関、自然保護団体、及び民間企業、(中央)政府、地方自治体等のステークホルダーを含む44のパートナー機関は、

「自然を活用する解決策(NbS: Nature-based Solutions)」の大規模な推進、これを主流化させるため、欧州における淡水生態系(河川、沼地、湿地)の生態学的な回復に取り組んできました。

プロジェクト着手時より、農業、上下水道、保険、水力発電、泥炭採掘、及び港湾・水路など水上交通インフラといった異なる分野の代表が、各々の関心・利益を代表して本プロセスに関与してきました。

水上交通インフラ・水運部門の幅広い分野の代表が円卓会議やワークショップに参加し、各々の見解を提示しました。EnviComのドイツ代表委員のElmar Fuchs氏は、水上交通インフラ・水運分野に関するPIANCの立場と、同分野における「自然を活用する解決策」に関する見解を示しました。

これらのイベントでは、PIANCの「自然との協働・共生(WwN: Working with Nature)」イニシアチブを紹介・発表し、MERLINコミュニティから非常に好評を博し、歓迎されました。PIANCは、港湾・水路分野における自然に活用する解決策の主流化プロセスにおいて、主要な先駆者かつ推進役として認識されました。

今回の(PIANCを含む)参加型のプロセスの結果として、MERLINは「港湾・水路分野の戦略：自然を活用する解決策の主流化による欧州内陸水路ネットワークのグリーン化(Navigation Sectoral Strategy: Greening the European Inland Waterway Network by Mainstreaming Nature-Based Solutions)」及び「港湾・水路分野向けブリーフィング(Briefing for the Navigation Sector)」という[文書を作成・公表](#)しました。

PIANCの観点からみても、MERLINへの参加は、MERLIN及びPIANC双方にとり互恵的な取り組みであると言えます。

Elmar Fuchs
PIANC 環境委(EnviCom)委員

PIANC WGからのニュース



[進捗報告 – 内陸水路委\(InCom\) WG 255 既設内陸水路の水工構造物の構造上の再評価 \(Structural Re-assessment of Existing \(IW\) Hydraulic Structures\) –](#)

※上記の補足リンク先記事の仮訳は[11~12頁参照](#)



[最新情報 – 内陸水路委\(InCom\) WG 262 遠隔操作による内陸水路航行\(Remote Operated IW Navigation\) –](#)

※上記の補足リンク先記事の仮訳は[13頁参照](#)

PIANC コミュニティからのニュース

各国部会や各国支部からの活動実績報告や今後のイベントの共有のお知らせ



[2026年4月22日、PIANCドイツがオンライン会合を開催](#)

PIANC ウェビナー

PIANC USAの近日開催予定の次のウェビナーにご参加ください

The image shows a registration form for a PIANC USA webinar. At the top, it says 'PIANC USA WEBINAR' and 'Design of Navigation Locks - Overview of the State-of-the-Practice'. The date is 'Wednesday 24 June 2026 | 2-3 PM (EDT)'. Below this, there is a section with the PIANC logo and a photo of a lock. The text reads: 'PIANC USA is pleased to announce the second webinar in its 2026 series. "Design of Navigation Locks - Overview of the State-of-the-Practice" will be held Wednesday, June 24, 2026, 2 - 3 p.m. EDT. There is no cost to attend the webinar and 1 PDH credit will be given to attendees. Presenters are Mr. John Clarkson, PE, Navigation Engineer, U.S. Army Corps of Engineers (USACE-RET) and Chair of the International PIANC Working Group 206, and Mr. Eric Johnson PE SE, USACE Inland Navigation Design Center. This webinar will provide an overview of all the facets of lock design: including planning, engineering, construction, maintenance, and rehabilitation. Participants will learn how to utilize the new state-of-the-practice report from PIANC Working Group 206 <https://www.pianc.org/publication/design-of-navigation-locks/>, that is a must-have resource to efficiently design, construct, and operate a navigation lock. Register for the webinar at [Registration Form for 24 June 2026 Webinar | PIANC USA](#). For questions related to accessing the webinar, contact pianc@usace.army.mil. A QR code is provided with the text 'REGISTER HERE!' below it.

PIANC USAは、2026年に企画する一連のウェビナーのうち、2回目のウェビナーの開催を発表します。「水路閘門の設計 - 最新の実務動向の概要」は、2026年6月24日(水)午後2時から3時(米国東部・夏時間)に開催されます。

本ウェビナー参加費は無料であり、参加者には「1 PDHクレジット」が付与されます。講演者は、[John Clarkson](#)氏(米国陸軍工兵隊(USACE-RET)、水路エンジニア(PE)、PIANC WG 206議長)、[Eric Johnson](#)氏(米国陸軍工兵隊(USACE)内陸水路設計センター、PEE)です。

本ウェビナーでは、計画、設計、施工、維持管理、改良・改修を含んだ閘門設計のあらゆる視点から概説します。

参加者は、航路閘門に関する効率的な設計、建設、運用には不可欠なリソースである[PIANC](#)

[WG 206*レポート](#)(2025年8月の最新の实用報告書)の活用方法を学びます。

*WG 206: 水路閘門の設計(Design of Navigation Locks)

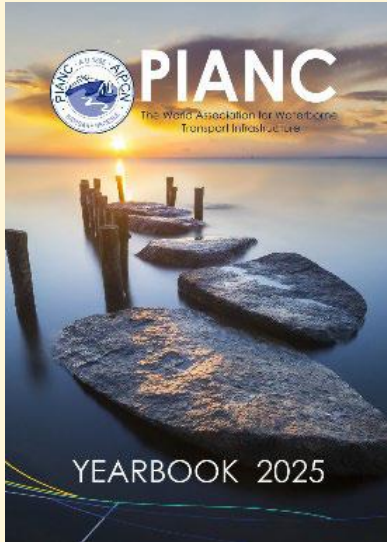
ウェビナー参加登録は右記リンク <https://pianc.us/registration-form-for-24-june-2026-webinar/> ウェビナーへのアクセス等に関するご質問は、pianc@usace.army.mil までお問い合わせください。

[Helen Brohl](#)
PIANC USA

出版物

発刊中

PIANC年報2025が2026年4月に発刊されました。



新たなフォーマットで編集されたPIANC年報の最新号をご紹介できることを喜ばしく思います。ぜひご一読ください！

この最新号は簡潔で読みやすくなっており、各記事に掲載のQRコードにより、ご関心ある記事詳細に簡単にアクセスし閲覧することができます。

新しい年報をお楽しみいただき、2025年のPIANCの世界的な活動についてぜひご覧ください。

年報の新しいフォーマットについて、皆さまからのご意見・ご感想をぜひお聞かせください。新たな年報に係る以下の簡単なアンケートへのご協力をお願いいたします。

[アンケートにご回答ください](#)

近日発刊

以下の報告書は、2026年5月に発刊予定です。

- 海港委員会(MarCom)WG 171 航路計画・港湾計画のための船舶操船シミュレーション(Ship Handling Simulation Dedicated to Channel and Harbour Design)

PIANCプラチナパートナーからのニュース

ShibataFenderTeam(SFT)社、AMIP入会によるPIANCメキシコとの連携強化

SFT社は、世界規模でPIANCコミュニティへの関与を推進する取り組みの一環として、メキシコにおけるPIANC資格会員(QM: Qualifying Member)であるAMIP(Asociación Mexicana de Infraestructura Portuaria, Marítima y Costera:メキシコ港湾・海事・沿岸インフラ協会)の会員となりました。

今回の取り組みは、メキシコ港湾セクターに対する当社の取り組みが深まっていることを示すだけでなく、長年にわたりPIANCのプラチナパートナーとして、世界中の港湾・沿

岸インフラに係る専門的な知見の交流と発展を支援するという当社の姿勢を具現化するものです。

5月下旬、SFT社はメキシコシティにて開催されるAMIP創立60周年記念フォーラムに出展者として参加します。5月19日から20日にかけて、[Luis Moreno López](#)氏が当社を代表し、港湾・海事・沿岸セクターの主要関係者と交流を深め、知識の共有、イノベーション、及び戦略的パートナーシップの構築に努める予定です。

Trelleborg Marine & Infrastructure社、英国ハルで開催される「PIANC Hull 2026: Navigation to Net Zero」に参加

Trelleborg Marine & Infrastructure社は、2026年5月11日から12日にかけて英国・ハルで開催される「PIANC Hull 2026: Navigation to Net Zero」に参加します。この2日間の会合は、持続可能な水上交通および港湾・水路インフラの未来に焦点を当てるもので、当社の専門家は、自動化係留技術がいかにして港湾の脱炭素化の目標を支援できるかを、知見を共有します。

本会合では、変化する環境や規制要件の下でのインフラの性能、安全性、運用効率に焦点を当て、当社の海上防舷材システムや接岸・係留ソリューションに関する取り組みを紹介します。当社の代表としてMike Howie氏、Alex Kondratiev氏が会合期間中、次世代の接岸・係留ソリューションの要件の変化についての議論とともに、新たな船舶の諸元、代替燃料船及び厳格化が進む排出ガス規制への対応のために、船舶用防舷材システムや係留技術がいかに適応すべきかについて解説します。

会合2日目は、[Mike Howie](#)氏が「自動係留システムとネットゼロ実現への貢献」と題した技術プレゼンテーションを行います。本プレゼンでは、船舶のターンアラウンド時間短縮、バース効率の向上、港湾運営の予測可能性向上への貢献を含め、脱炭素化目標を支援する自動係留システムの役割に焦点を当てます。港湾やターミナルが、安全性と処理能力を維持しつつ排出量を削減するための実践的な対策を模索する中で、これらの要素はますます重要性を増しています。

本プレゼンテーションでは、自動係留システムがターミナル効率性を大幅に向上させるとともに、環境パフォーマンス指標の向上にも寄与した実用事例を紹介します。世界中の港湾が、取扱量を損なうことなくカーボンフットプリント削減という圧力の高まりに直面する中、これらのシステムが、運用面と環境面の双方で成果を上げる実証済みの道筋を示します。

「PIANC Hull 2026」は、水上交通分野の脱炭素化に内在する技術的課題に取り組むための理想的な場であり、当社は、このような極めて重要な議論に貢献できる機会を歓迎しています。

[Alexandra Yang](#)

Marketing Executive Trelleborg Marine and Infrastructure

姉妹機関からのニュース

デルフトでの浚渫研修が復活：2026年6月に2つの補完的プログラムを開催



DELFT (NL), JUNE 2026



2026年6月、デルフト(Delft)は浚渫に関する知識と専門家の交流の国際的な拠点となります。2つの補完的な浚渫研修プログラムが開催されるためです。

2026年6月15日から18日にかけて、オランダで初となる「持続可能なインフラのための浚渫」

コースが開催される一方、同じ週の2026年6月15日から19日にかけて5日間の「浚渫と埋立に関するセミナー」が開催されます。

両プログラムとも IHE Delft Institute for Water Education(IHEデルフト水教育研究所)との協力連携により企画されたもので、技術的な基礎知識と持続可能性を重視したプロジェクト思考を融合させ、浚渫に関する幅広い基礎知識と将来を見据えた視点を同時に提供するものです。

[続きを読む...](#)

[Ria van Leeuwen](#)

以下はPIANCのプラチナパートナーです：



ソーシャルメディアでPIANCをフォローしてください：



ニュースレターのご購読をご希望ですか？ メール設定は [こちらから](#)

PIANC公式サイト：<https://www.pianc.org/>

PIANC会員になるには（右記, 日本部会へご連絡を） info@pianc-jp.org

<https://www.pianc.org/join-pianc/>

進捗報告 -内陸水路委(InCom) WG 255*-

*WG 255: 既設内陸水路の水工構造物の構造上の再評価 (Structural Re-assessment of Existing (IW) Hydraulic Structures)

内陸水路(IW)の水工構造物は、安全性と耐用年数を考慮して設計されている。持続可能性や資源の有限性を考慮するならば、構造的な条件や外的な境界条件が時間経過とともに変化の中で、これら構造物の長寿命化の確保が不可欠となっている。現在の状況が当初の設計と条件前提から著しく逸脱している場合、構造的な信頼性を検証し、継続的な運用を支えるための再評価が必要となる。

荷重の増大、材料の劣化、安全性の考え方の進化、点検・モニタリングの結果、または事故などの例外的・異常事象など様々な要因により、再評価が必要となる可能性がある。

PIANC WG 255では、国際的なベストプラクティスと最新の科学的知見を統合し、既設の内陸水路の水工構造物の評価に関する提言事項を策定する任務を負っている。

(最終成果物となる) 報告書では、機械部材・部品を除いた無筋コンクリート、鉄筋コンクリート及び水工用の鋼構造物に主に焦点を当てる。各国の関連する規則・規制が多様であることを踏まえ、報告書では一般的な工学原則を中心に、実用的なケーススタディで補完する。

提案するフレームワークとしては、評価と保全・補修戦略を結びつけた反復的なアプローチを採用する(図1参照)。評価は、目的と対象範囲の設定から始まり、利用可能なデータのレビュー、構造的な挙動に関する初期条件・仮説の設定が続く。不確実性が残る場合は、構造性能・特性についてより深い洞察を得ることが可能な精緻化したモデルを用いた詳細解析を実施する。

高い信頼性を有する結果が得られるまで、詳細度を段階的に高めることができる。各々の反復作業は、結果の妥当性チェックにより終了する。評価の信頼性は、利用可能な情報の完全性と品質に大きく左右されるため、慎重なデータ検証と透明性のある文書化が不可欠となる。

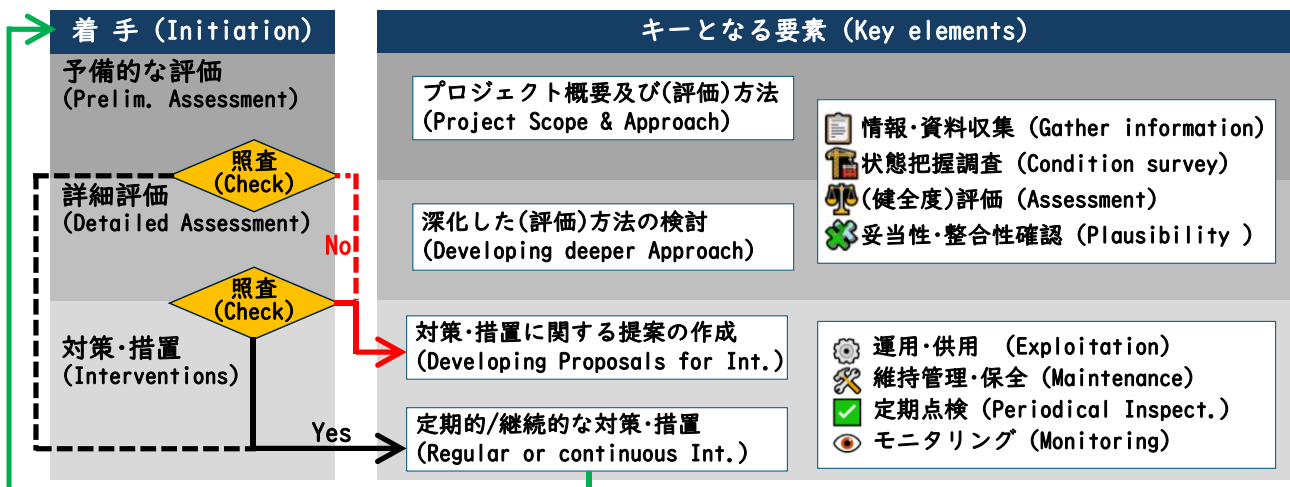


図1 (再)評価プロセス



(再)評価の結果に基づき、(設計等の評価)条件の妥当性を確実にするため、または条件への適合を目的とする対策・措置を実施する。具体的には、継続的なモニタリング，点検の強化，供用条件の変更，及び耐荷性能の強化や上載荷重の制限等の短期的・応急的な措置も含まれる。

WG 255へのご協力をお願い 既設構造物の再評価に係るアンケート

既設の水工構造物(内陸水路)の評価に関するご経験をお持ちの方は、簡単なアンケートにご回答いただき、本WGの活動にご協力ください。アンケートの結果は、実務者のニーズに合致する報告書を作成する上で有用です。このアンケートには下記リンクからアクセスできます：

<https://app.sli.do/event/ckiz4vQDri53tuMwFY2Ydx>

現時点でWGに参加していない国からのご協力は特に歓迎します(下図の地図をご参照ください)。各国の取り組みに関する知見・洞察をいただければ幸いです。追加的な協力のご提供や、ご質問がございましたら、当方までご連絡ください。

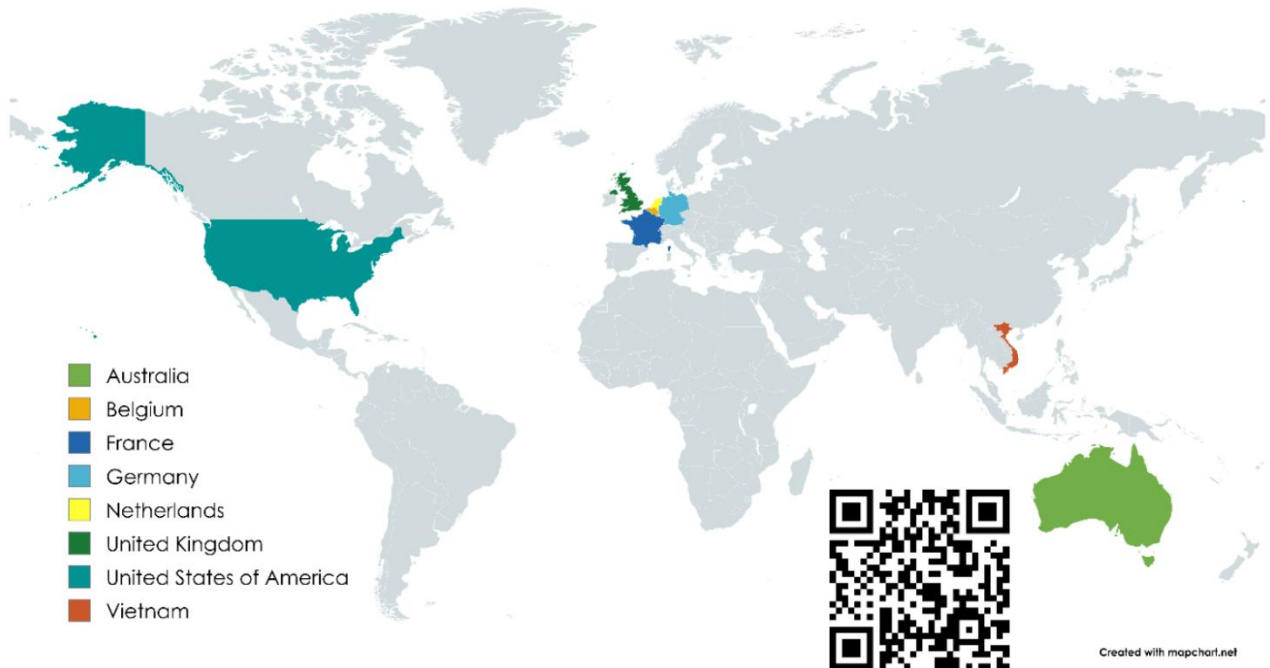


図 WG 255 (委員) 参加国

WG 255アンケートQRコード

Viktoria Malárics-Pfaff
PIANC WG 255議長



最新情報 -内陸水路委(InCom) WG 262*-

*WG 262: 遠隔操作による内陸水路航行(Remote Operated IW Navigation)

2026年3月17日、PIANC 内陸水路委(InCom)WG 262の第4回会合がViadonau社(オーストリアの水路運営企業)において開催されました。本WGでは、遠隔操作による内陸水運に焦点を当て、(I)遠隔操作の内陸水路航行船舶、(II)遠隔操作センター(ROC: Remote Operation Centers)、及び(III)船舶と陸上間の通信リンク に関する機能的・技術的要件の定義を実施します。

今回の会合では、専門家チームによる最初の成果の発表と討議を行い、WGの最終報告書に向けた今後の主要なステップを決めました。我々は明確に正しい方向に進んでおり、今後も全速力で取り組んでいきます。

内陸水路における遠隔操作は、センサー技術やデータ伝送技術の進歩に後押しされる将来性のある分野であり、効率性と安全性の面から新たな基準が策定されつつあります。

現在、本WGに協力・貢献いただいているのは、主に欧州の専門家によるものですが、PIANCとしては、真にグローバルな視点を確保することを重視しており、世界中の専門家からのご意見・ご提案によるインプットを大いに歓迎します。

PIANC WG 262の活動への参加にご関心ある方は、同WGの議長である[Sim Turf](#)までお気軽にご連絡ください。

[Sim Turf](#)

PIANC WG 262議長